

令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(榛沢小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
榛沢小	下回った	下回った	下回った	下回った	上回った	下回った
埼玉県	62.1	56.2	63.8	63.0	63.0	59.8

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
榛沢小	5-B	6-B	7-C	5-C	6-B	6-A
埼玉県	6-C	6-A	7-A	5-B	6-C	6-A

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
榛沢小		1	2		2	1
埼玉県		0	3		1	1

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

		小4		小5		小6	
質問事項		榛沢小	埼玉県	榛沢小	埼玉県	榛沢小	埼玉県
生活習慣	・脱いだ履き物のかかとをそろえる	95.4	79.6	80.7	82.1	75.8	85.5
	・はっきりあいさつをすることができる	90.9	75.8	77.5	75.6	84.8	77.7
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる	86.4	81.9	90.3	83.2	84.9	83.5
学習習慣	・勉強する前に、これから何を勉強しなければならないかについて考える	45.5	49.5	67.7	47.7	75.8	51.7
	・勉強をするときは、最初に計画を立ててから始める	45.4	42.3	54.8	41.6	51.5	44.3
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	81.8	54.4	64.5	60.1	54.5	60.8
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	31.8	24.4	25.8	19.5	18.2	19.3
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	68.2	67.2	83.9	70.5	81.8	75.2
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	90.9	75.5	87.1	72.8	78.8	63.5
ICTの活用	・昨年度の国語の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	27.3	18.6	71.0	18.3	24.2	19.5
	・昨年度の算数の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	50.0	14.6	54.5	13.4	24.2	14.8
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	50.0	24.3	67.8	24.4	42.4	24.0
その他	・自分には、よいところがある	95.5	79.9	83.9	78.2	90.9	77.6
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	86.4	76.8	88.3	77.9	75.8	75.3
	・将来の夢や目標をもっている	90.9	86.9	90.3	87.3	87.9	81.9

【質問紙分析】

- ・ ICT の活用が県の平均と比較して、どの項目も高いのは「深谷市の取組としてタブレットの持ち帰りを推奨していること」、「校内研修をし、教員が授業にタブレットを活用する意識の高まり」のためであると考えられる。
- ・ 休日の学習時間が、学年が上がるにつれて減少傾向にある。また、6年生に関しては勉強することが「楽しい、好き」と回答する児童が県を下回り、「将来の進学や就職に役立つ」と回答する児童が増えている。そういった児童への取組として、①基礎基本の確実な定着と、わかる喜びを実感させる授業の実施②ドリルパークを活用した反復学習の実施③家庭学習の取組を学校として見直す、ことを行う。

公表

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・伸びが見られた学級では、ICT 機器を効果的に活用して、児童の興味を引く課題を設定したり、表現方法の一つとしてタブレットを使ったりしている。職員研修や学校研究の授業研究を通して職員全体に広める。
- ・学力向上の基盤である学級経営・教室美化等の日々の教育活動を丁寧に行っていたので、全職員で学級経営に注力する。

【国語】

- ・伸びが見られた学級では、国語の学習中に分からない語句に出合った時、すぐに調べられるようタブレットを手元に置いた。早く解決できる利点があるため、疑問もそのままにしないことが力をつけることにつながったと考える。

【算数】

- ・課題が全て終了した児童から順次ドリルパークにうつり、空白時間を作らないようにしていた。自分の力に合わせて進めることができるので、個別最適な学習の実施となることが結果へつながったと考えられる。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・人物の心情・出来事理解等、文章の内容を正確に理解することが課題なので、まずは多くの文章に触れ、内容を読み取る活動を増やす。そのために、4年生から6年生は新聞記事を利用して、コラム学習を実施し読解力を鍛える。
- ・児童の興味関心が高いドリルパークの活用を学校全体で推し進める。ベーシックモード・チャレンジモードを児童が選択でき、個別最適な学習の一つとし、一人一人の力を伸ばす。
- ・家庭学習の取組について、学年や児童の発達段階を考え、家庭における学習習慣の定着と質的向上に向け、学校全体で「榛沢小家庭学習スタンダード（仮）」を作成する。